

# 観自在

弘長寺寺報  
第二十三号  
平成二十三年  
八月(年  
二回発行)

## 本堂耐震大改修

### 間もなく九月五日着工

落慶円成に向け

さらなる寺檀一如の心を

弘長寺住職 森田裕光

仏様の御宝殿であります私どもの菩提寺、弘長禅寺の本堂が、待ちに待った九月いよいよ着工となります。

お檀家の皆様には、落慶円成に向け、更なるご理解とお力添えを賜りますよう、心からお願ひ申し上げます。

工事期間中は、狭いけれども書院を本堂代わりにご利用いたします。

また、出入り口が本堂側一カ所しかないため、阿弥陀堂も安全のため入れませんのでご理解よろしくお願ひいたします。(本堂の大きな荘厳具もお堂に保管します)

ご不便をおかけいたしますが、来年五月までの九ヶ月間のご辛抱です。



230年を支えた最後の雄姿

お盆過ぎに本尊様は書院に移転し、本堂内は改修のための片付け作業に入りますので、ご法事は全て書院で行います。

毎月第一木曜日早朝六時からの坐禅会も書院にて如常開催いたします。

また工事期間中、もちろん建設業者も細心の注意をはらわれるでしょうが、皆様方もお寺参りの際には工事に対して充分に気をつけて、怪我などされませんようをお願いいたします。

期間中、可能な限りお寺に足を運んでいただき、工事の進捗状況を見守っていただきますようお願いいたします。

## 東日本大震災発生

三月十一日に発生した大地震と津波は、日本に於ける観測史上最大のマグニチュード九・〇を記録し、震源域は岩手県沖から茨城県沖の広範囲に及び、津波は高い所で四十・五メートルも届き、死者・行方不明者は二十万人以上、建造物の全壊・半壊は二二万戸以上という悲惨ですさまじいものでありました。

東北寺院も相当な被害を受けています。(四・五面に詳細記事)

震災直後のあるブログに、「耐震対策のお陰で本堂が持ちこたえた」との書き込みを発見し、私どもの耐震大改修は将来に向け、間違いない方向に進んでいることを再確認いたしました。









「日本の回帰」という著書の中、「肉体的個人」というのは、肉体的個人としての排斥され、肉体的個人意識のみ(自分)であるとして教化する場合には、イエスは「罪の子」と言われたのである」と説いておられるので



それは人間を単なる肉体的存在として見るか、肉体的奥に物質の奥に、靈妙きわまりなき存在があり、これこそ霊的人間であり、これこそ「霊的」である、肉體は本来的に靈的人間の被服または道具にすぎないと書かれてい

娑婆世界で少し貯えをのこしても浄土に逝くときには、全部そのままにして、生まれ

貫で逝くのです。それこそ裸一貫、菩提寺を我々の子孫に残す一大事業に心から喜捨でき

りませんか。どうか寺檀一如、立派にこの聖業を大円成いたしましたよ

ありがとうございます。

合掌

お知らせ

お願い

●第三墓地の竹を伐採していただきました

昨年引き続き、鏡地区・屋号奥・土江澄雄氏によりボランティアで第三墓地前の竹を伐採していただきました。(氏の会社社員二名と共に三名で三日間)猛暑の中で、汗まみれになりながらの作業にただ合掌でした。

●施食会法話

施食会法話は、大田市宝隆寺住職 和田善明師をお招きします。

現在山陰中央新報日曜版に定期的に寄稿されています。早くからブログを開き、随聞記解説本を出版され、今島根県で最も活躍顯著な方でいらつしやいます。

駒沢大学大学院卒、長崎県、皓台寺専門僧堂にて役寮(雲水指導)、管区センター布教師を歴任、現在は島根県第一宗務所で教化主事をされています。

●盆棚経は湖南台・久戸地区からです

棚経は昨年内ヶ峠地区まで終了しました。

●今年湖南台、久戸からスタート、久戸―横見―大野―菅原・和名佐―大谷―柳井―宍道―松江―弘長寺―鏡と廻ります。朝七時―夕六時迄、いつものように廻れるところまで、十四日は初盆のお宅に参ります。時間指定はできません。葬儀が出来た場合は葬儀優先です。なお、今年息子の裕がレンタルのスクーターで廻ると申しますので、案内効率良く廻れるかもしれません。(十四日を除く)

●秋葉祭は読経供養のみ、カラオケ大会は休止します

●ご法事の際は、塔婆料をお忘れなく

●ご法事の際、住職がよく忘れるのが塔婆料をいただくことです。

お塔婆は、昔は施主家のほうで準備したものです。現在は便宜的にお寺が仏具屋に注文しています。

大抵アルコールが入っています、うと忘れがちになりますので、出来れば最初にお寺に迎えに来られた時に塔婆代だけは先にお渡しただくと喜びます。一本千円です。

院号や庵号の方は千五百円です。

●それは無理ありません

寺報で何度も掲載した、仏膳(霊供膳)の並べ方が、曹洞宗の正式な並べ方と違っている家が多く、(曹洞宗は酢の物等を入れる壺が真ん中にきます)何故だろうと思ってインターネットで検索したら、殆どが違ったり方(壺を飯碗の対角線端に置き、真ん中には漬け物を入れる高皿がきている)を、さも正しいように示してありました。

これでは皆さん方が間違うのも無理はありません。

曹洞宗は威儀即仏法で形を正しく整えることがうるさい宗派なのです。

しかし、いざネットで調べれば、佛具業者や同じ禅宗である臨済宗の寺院ホームページでも間違った置き方をさも正しいように解説してあります。正しい作法が殆ど見つからないというこんなネット状況では、もう仕方がないですよ。

今後はあまりうるさいことを言わないようにします。

ただ、曹洞宗の本当の正式な置き方は断じて壺が真ん中です。

(詳しくは寺報十二号に載せています)



# 東日本大震災について①

## 寺院被害状況

神様仏様は何と酷(むご)いことをなさるのであろうか。たとえ寺院であらうが神社であるうが、全くお構いなしの惨状である。

寺門興隆には見るに忍びないほどの写真がたくさん掲載されています。(次面)

一般被害については、テレビ・新聞でよくご存知のとおりです。特に寺院被害について転載させていただきます。

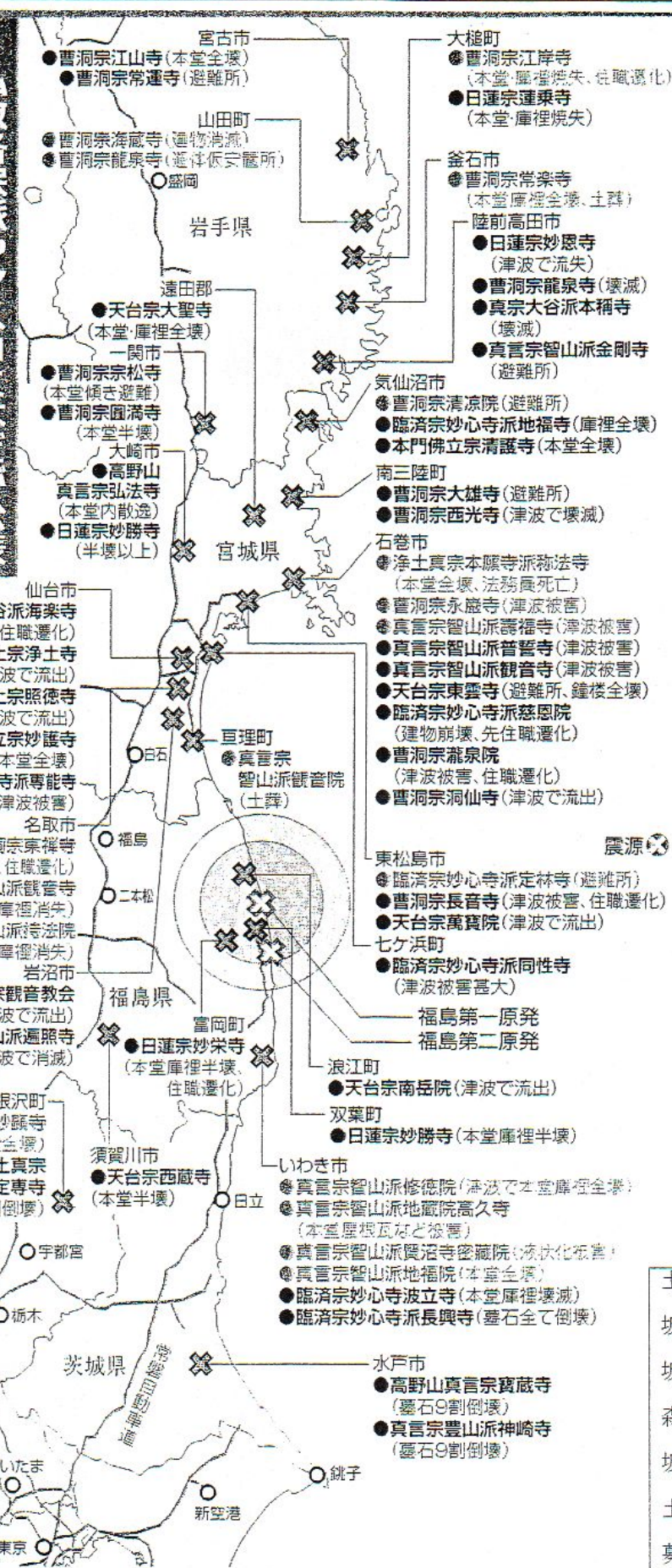
津波で伽藍が無くなり、住職様も遷化(死亡)され、お檀家本当に気の毒で胸が痛みます。

住職は震災後すぐに十万円を宗務庁を通して送付しました。

お檀家皆様に義援金を募ったところ、お寺に持参された方もいらつしやいましたし、大般若では被災者慰霊法要を行った上で募金も募り、五月連休終了後、合計 九万四千三百三十八円の浄財を郵便局から宗務庁を通して送付いたしました。

誠に有り難うございました。お名前の確認できる方のみ名前を掲載させていただきます。なお、募金は継続中です。

士江嘉久 殿	20,000円	…被災寺院へ
坂本英夫 殿	5,000円	…被災寺院へ
坂本研次 殿	3,000円	…被災寺院へ
森田裕光	20,000円	…被災寺院へ
坂本研次 殿	3,000円	…一般被災者へ
士江貞夫 殿	3,000円	…一般被災者へ
募金箱無記名	40,338円	…一般被災者へ
<b>合計</b>	<b>94,338円</b>	



**仏教各宗派やマスコミなどが公表した東日本大地震の主な被災寺院**

4月22日現在

寺門興隆 5月号より転載

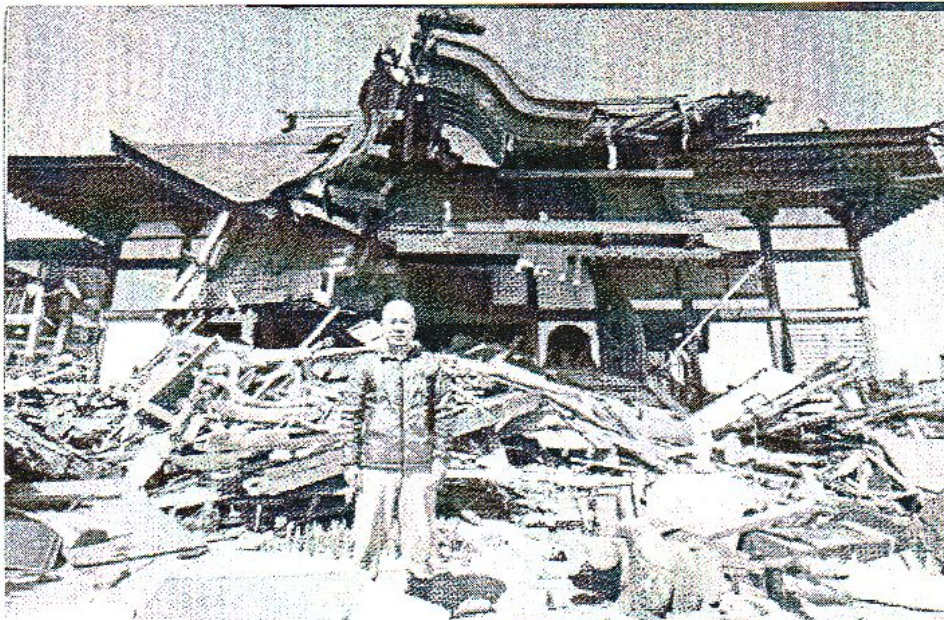


# 東日本大震災について②

## 寺院被害状況

左写真の東禅寺は住職夫婦遷化、副住職は他所に出かけており、難を逃れた。  
釜石市の常楽寺は本堂の奥まで瓦礫が押し寄せた。

宮城県名取市東禅寺 三宅副住職

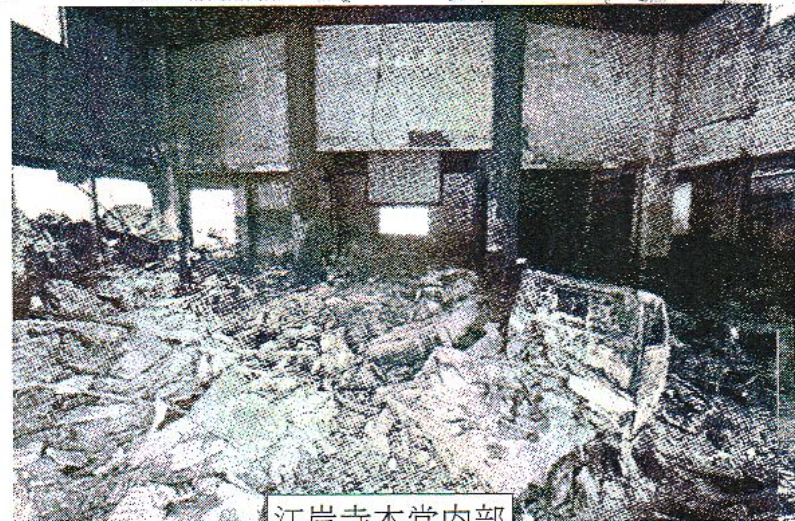


大槌町江岸寺は町の指定避難所になっており、百人が避難中に津波が押し寄せ、高齢者など三十人が避難できずに死亡。

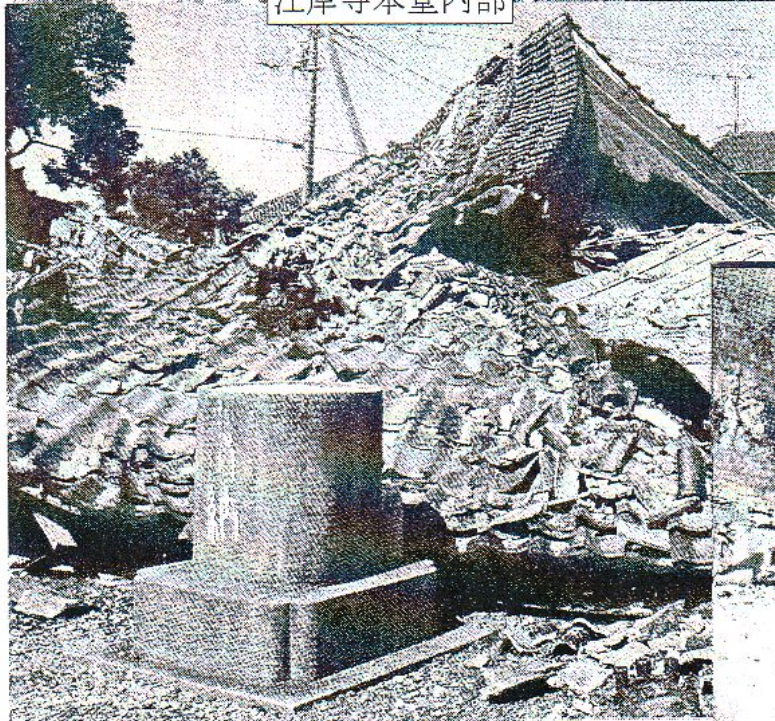
皆を救助するため寺に戻った十九歳の徒弟と住職が遷化した。

釜石市 常楽寺

遠方であったが曹洞宗島根県第二宗務所青年会も、ボランティアで現地の瓦礫撤去や墓石整理に参加したと伺い、うれしかった。



江岸寺本堂内部



岩手大槌町江岸寺



誌上法話

住職

幽霊(お化け)の存在を

仏教はどう見るのか  
〜靈感住職として〜

奇妙で奇跡に近い偶然

最近奇妙な発見をしたことを  
最初に書いてみたいと思います。  
(わかりやすくするため漢数字  
表記をやめます)

本年2011年3月11日の  
東日本大震災と、2004年9  
月11日のアメリカ同時多発テ  
ロ事件。

人災と自然災害の違いはあり  
ますが、どちらも世界的にまれ  
に見る大きな出来事です。

その数字に着目すると、余り  
にも偶然過ぎる不思議な事に気  
がついたのです。

9・11と3・11は、どち  
らも1がダブっています。

もしその数字を時間と見立て  
て、時計の短針で表せば180  
度真反対です。

その起きた時間が、震災は午  
後2時46分でテロは8時46  
分なのです。

つまり午前8時46分と午後  
2時46分という一つの時間は、  
やはり時計の短針で指せば百八  
十度真反対となります。

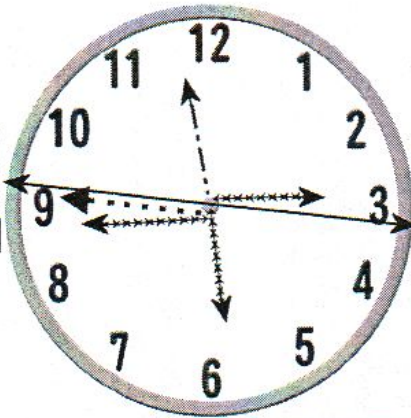
2011年という年号も1が  
ダブっている。

その11とダブる数が多いと  
いうだけならまだわかるのです  
が、分の数字まで全く同じ、し  
かも月日と時間がそれぞれ百八  
十度正確に真反対というのは、  
偶然にしては出来すぎではない  
かと、鳥肌が立ったのです。

改めて9月11日を9時11  
分と見立てて時計の短針で示せ  
ば、何とほぼ46分の方向を指  
しているではありませんか。

娘に話すと、「そうだよ、だ  
からネットでは地震も本当はテ  
ロではないかと騒がれてるよ。」  
とのこと。

「あーそうか、大発見だった  
と思っていたのに、やはり既に  
気づいている人がいたのか」と  
納得落胆いたしました。  
(そう言われてネットを検索し  
てもヒットしなかったのだが)



46分

9・11

米テロ

2011年

東日本

3・11

阪神 1・17

それはともかく、ネットで気  
づいたその人でも、ここまでは  
気づいてないのではないが。

それは、阪神・淡路大震災。  
この地震が起きたのが199  
5年1月17日、ここでも11  
7と1がダブルなのです。

更に不思議なのは、起きた時  
間が、何とあろうことか朝の5  
時46分なのだ。

「46分」、三件の大災害の  
起きた時間の分単位の数字が全  
て46なのです。

嘘だと思われるなら、調べて  
いただきたい。

どうです、偶然にしてはあま  
りにもという気がしませんか。

この分の46という数が正確  
に三つも揃い、11がダブルで  
四つも絡み、短針が二つとも真  
反対を指す確率というのは、億  
や兆どころの単位ではなく、も  
はや奇跡に近いのではないだろ  
うか。

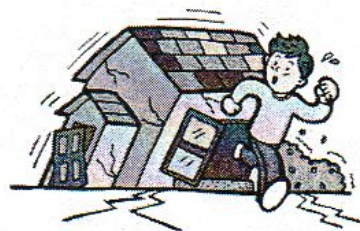
そこで住職は推理をしてみた。

上の図に示すように、46分  
の時間を、東日本・阪神・アメ  
リカの順に並べてみると、2時  
・5時・8時である。

つまり時計の針でいえば、規  
則的に3時間おきなのだ。

図の時計を見つめ、3時間お  
きで足りない時間は何時かとい  
うと、それは11時です。

とすると、この次に起こりう  
る世界的な災害は、午前か午後  
の11時46分に起きる可能性  
が高いと推測できる。  
11時もやはり1がダブルか  
ら、被害は最大級かもしれない。



かなりの中率の高いアメリカ  
の予言者が、年内中に北朝鮮か  
ら日本へミサイルが飛んでくる  
ことを予言しているらしいので  
すが、その予言だけは外れてい  
ただきたいものです。

まさか、2011年11月1  
日11時46分なんてことに  
ならなければいいのですが。

災害を数字で弄んでいるとお  
叱りを受けそうですが、もし万  
が一ここまで当たれば、それは  
人智を超えた何者かによる操作  
がなされていることにならない  
だろうか。

余談ですが、私の家内は昭和  
33年1月11日生まれであり  
ます。(3がダブルで1がトリ  
プルなのです…あな恐ろしや)

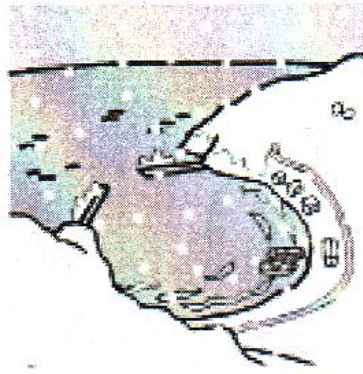


### 住職の法力

昨年大晦日（正確には明けて正月）深夜の出来事です。

間もなく八十歳にならんとする老寺族が、突然東司（トイレ）の前で転倒しました。

除夜の鐘・修正会を了え、たまたま近くの部屋にいた住職が物音で気づいてかけつけたが、寺族は体が震えて自力では起き上がれない状態でした。



すぐに救急車と思ったが、舟がひっくり返る程の重い大雪のため車が動けない状況で、救急車も無理と気がついた。本人も「大丈夫」というので、その日は様子を見ることにしました。

しかし実際は大丈夫ではなく、後日、日赤での精密検査の結果は、レビー小体型認知症（アルツハイマーの十倍の速度で進行）

という認知症の中でも悪質な病の予兆でありました。

デイサービスがはじまりショートステイも利用したが、はいかいをともなった病状が進み、個人介護の限界を超え、施設できえもその言動をもてあますようになり、ケアマネージャー氏に湖南病院へ同行説明していただき、三月に入院とあいなった。

正月が明けたばかりでまだ初期段階の頃、老寺族が頻繁にお化けが出る騒ぐようになった。「お経を読んで拜んでくれ」とのこと、その部屋に経机や法具を持ち込み、数回に亘りねんごろに読経したが、全く効き目がないどころかむしろお化けが増えたのです。

さすがに住職も自信を失い、自らの法力の無さを嘆いたが、その後日赤にて精密検査の結果レビー認知症と診断され、特にリアルな幻影が見えるのがその病の特徴であり、法力とは無関係であることが判明した。

これは寺族の幻影でことなきを得ましたが、そもそも住職は修行時代から数度霊体験をしているのです。

特に当山は霊現象の多いお寺であると確信します。

### 住職の霊体験

私は京都の興聖寺で修行をしたのですが、本堂の外縁の天井は、関ヶ原の前哨戦で伏見城が陥落した際の、手足の形がくつきりと浮き出た血糊の天井で、特に深夜その外縁を歩けば決して気持ちの良いものではない。



その修行時代に深夜、僧堂（修行僧が寝起きし、坐禅する場所）で、何者かに強烈に揺り動かされ目が醒めると、闇夜の薄暗がりで見えないけれども百キロ以上はあるという巨体に押さえつけられて身動きが取れない。

苦しくて息が止まって「ああ、死ぬ」と思ったとたんその巨体が退いた。一体何者か、と素早く起きて当たりを見渡すも、誰も近くにはいないし、他の雲水は皆いびきをかいて寝ておりました。

翌日方丈様にそのことを告げると、「オーあんたも体験したか、あの首座単（しゅそたん）の脇にいる者はほとんどがそう

いう目に遭うよ」とのことであった。もっとしっかり修行せよとの警策をいただいたのであろう。

当山に入ってから、子供と一緒にお内仏さん（台所のとりの仏壇をおいてある部屋）の部屋で写真撮ったところ、明らかな心霊写真が撮れて家族で大騒ぎをしたり、昼間そのお内仏さんの部屋から台所に入った老婦人の霊を二回見ました。その老婦人を泥棒と確信した住職は、山内を隈無く搜索するも、影も形も無かった。

境内前の竹林で、普段は絶対に聞けない金属音に近い大音を発しながら猛スピード（音速級）で移動する不気味な何かを、夜夫婦で確認しました。

また、現在居住を共にしている娘夫婦も共に霊感が強く、霊を見たり、不思議な物音を聞くことが日常茶飯事となっています。

こういうお話をお寺さんの方の前ですることはまずありません。そういう体験のない方が殆どです。曹洞宗という宗派が、霊の存在や霊現象に対して基本的に否定的な態度を取る宗派であるからです。

それは道元禅師様の著わされ



た「正法眼蔵」という崇高な宗教哲学理論と坐禅の行こそが信仰の中心という教えによるところが大きいと思います。

霊の存在を妄想と切り捨て、囚われるなという教えを持つているから、まずバカにされるのが関の山です。

しかし、いかに低俗だという侮蔑の目で見られてもよいから、今日は存分に書いてみようと思えます。

幻影であろうが妄想であろうが見える人には見えるのですから、もし僧侶が壇信徒から相談を受けた場合には、低俗視しないで真剣に対応すべきだろうと思っております。

### 仏教の考え方

曹洞宗はともかくとして、果たして仏教はこういう霊問題に対してどういう見解をもっているのだろうか。

ひろさちやさんの本を参考にしますと、お釈迦様の弟子にマールンクヤという青年がいました。理屈っぽい性格で、宇宙は有限か無限か、仏にも死はあるか、死後の世界はあるのか、霊魂は存在するのか、そんな哲学的な難題をお釈迦様にぶつけていた。

しかし、お釈迦様は一切それ

らの問いに答えなかつた。ある日「今日こそはお答え下さい、もし答えていただけなければ、私は仏教徒をやめます」マールンクヤが詰め寄つた。



お釈迦様が静かに口を開かれた。

ここに一人の男がいる。どこからか毒矢が飛んできてその男に当たった。側にいた友人たちが毒矢を抜こうとする。すると、男は「待て、この矢を抜く前に私は知りたい。この矢を射た人間は男か女か。色は白いか黒いか。背は高いか低い。年齢は何歳くらいか。それらのことが明らかにならない以上、この矢を抜かせるわけにはいかない。」

要なのは、犯人がどんな人間であるかということではない。一刻も早く毒矢を抜いて、治療を施すことだ。

死後の世界があるかないかというのもこの話と一緒に、現実をどう生きるか、おまえの人生をどう生きるかが大事なのだ、と教えられました。

この教典は「毒箭(どくせん)の比喩」と呼ばれ、お釈迦様の説法の中では、どうでもいいことは一切考えるなという「捨置記」に分類されています。「無記」とも言われています。

人間には考えたってわからない問題があるが、そういう質問には「ある」とも「ない」とも答えておられないのです。

日常生活を清らかに保ち、坐禅修行等をすれば、考えなくすむようになる。

返す言葉はありません、全くその通りだと思います。

ただ私は思うのですが、般若心経の「空」の教えにしても、とてつもなく長い目・広い目で見れば確かに今在る存在が無いと同じ存在：無常である今の命を生きていること自体が夢想であることを、理屈ではわかっています、現実には今この一瞬を、

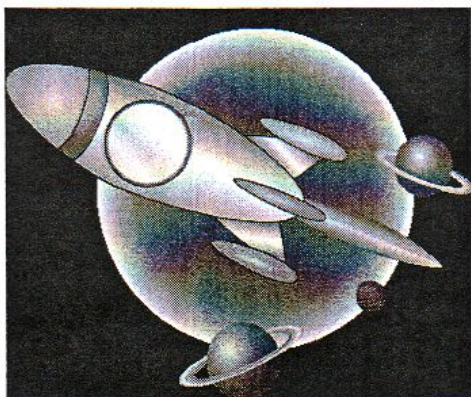
社会の一員としてその都度対応しなければならぬ。他人との摩擦もあれば、悩んだり借金したり、痛みを味わったり、病気になるったり、家族の死に直面したりして右往左往する。

とても「無常」「空」なのだから、とらわれてはいけぬ、執着するなと覚めた目に対応することは、私も含めて凡人にはなかなか困難なことです。

霊現象も同じで、実際に見えるている人に対して、「妄想だ、とらわれるな」と教えても、当人は「ハイ、そうですか」と素直に納得出来るものではない。

### 住職の思い

よくお説教で引用するのですが、あの「知の巨人」立花隆氏が著書「宇宙からの帰還」で、





宇宙飛行士が、不思議な体験をした例を上げてこう書かれています。



肩書きや名前を一切取り払ったところで、「お前は何者だ、何のためにそこに存在しているのだ」と問われて、誰も答えることが出来ない。

「ここはどこだ、地球の中の来待だが、その地球は宇宙のどこに位置するのだ、そしてこの宇宙は永遠に果てしない全宇宙のどこに位置するのだ」と問われて、誰も答えることが出来ない。

「今は何時(いつ)だ、2011年だ。では永遠の過去から永遠の未来の中で今はいつたい何時に位置するのだ」と問われて、誰も答えることが出来ない。

こういう根源的な疑問に対して正確に答えることができない者に、霊がないなどと簡単に断定出来ることは絶対でない。確か、そんな内容であったと思えます。

私は霊が見えること自体がそんなすごいことではないと思っ  
ています。

だって私に見える霊は、今のところ相手を攻撃をする霊ではありません。

たまたま霊との周波数が合っているだけで、それにいつても出てくる訳でもありません。

大騒ぎをすることでもありません。

しかし、霊に対して「自分にはわかりません」というのならともかく、「霊など絶対にはない」と断言する人に対しては反論したくなるのです。

お釈迦様は「ない」ともおっしゃってないのです。

世の中は広いと思います。

ネット(インターネット)を見ると霊障害で困っている方も結構いらつしやるのです。

お檀家様や知り合いにはそんな方はおられないからよいのですが、万が一そんな相談を受け

たならば、私は霊体験を持ち合わせているので、多分体験の無いお坊さんとは多少違った対応

ができると思っています。

とは言っても、私は霊能者ではありませんので、悪霊を取り

除いたり、浄霊を行う力は私自身にはありません。

浄霊が叶うようにひたすら仏

合掌

様のお力を信じ、仏様のお力をお借りできるように念じ、お願いをして、一心に読経することしかできません。

ただ霊体験がなく、疑心暗鬼で読経をするお坊さんよりは、祈りの内容と真剣味は違うであらうと自負しています。



お釈迦様の靈性にしても、曹洞宗の学者は理論が先行し、あまり積極的に行わないのですが

(むしろ否定的で人間釈迦を強調するくらいあります)、

私はひろさちやさんがおっしゃるように、「大乘仏教において

は、お釈迦様は仏の国からおいでになって、仏の国に帰って

いかれたのだ」つまり最初から仏様だったのだと確信しています。

人間釈迦を支持するというこ

とは、過去七仏など全く信じられない世界になるでしょうね。

分別智が邪魔をするとな無条件に信仰する信の世界には入って

いけないのかもしれない。

ではまた別の機会にもう少し掘り下げてみたいと思います。

合掌

### 両手の世界

両手を合わせる

両手でにぎる

両手で支える

両手で受ける

両手の愛

両手の情

両手合わせたら

喧嘩もできない

両手に持ったら

壊れもしまい

一切衆生を

両手に抱(いだ)け

坂村真民



# 島根県第二宗務所

## 第二教区護持会研修旅行のご案内

本年は、本堂大改修のため、弘長寺独自の研修はお休みです。

第二教区護持会の研修旅行が企画されましたので、是非とも参加したいと思います。

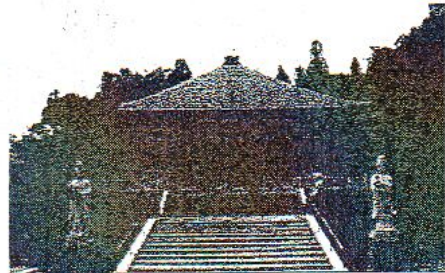
ご希望の方は下記のとおり、8月13日迄に菩提寺へ。

### 萬象山:御誕生寺参拝と北陸、山中温泉の旅

皆様には、ご健勝にてお越しの事と拝察申し上げます。

この度、第二教区護持会では『萬象山御誕生寺参拝と北陸山中温泉の旅』を計画致しました。

前曹洞宗管長の板橋興宗禅師様が平成14年に小堂を建立され、平成21年に本堂落慶をした御誕生寺(専門僧堂)を参拝し、九谷焼窯元等、見学を予定しております。お泊りは、山中温泉に宿泊します。是非お誘い合わせてご参加下さいますようご案内申し上げます。



【萬象山御誕生寺:本堂】

◎期 日 平成23年9月15日(木)~16日(金) 〈1泊2日〉

◎会 費 37,500円

◎主 催 第二教区護持会 教区長:蓮光寺(☎0852-62-2153)

◎申 込 8月13日までに各菩提寺へお申し込み下さい。

◎行 程 (全行程貸切バス利用)

9月15日 (木)	第二教区管内==<山陰・米子・中国・若狭舞鶴道>==小浜IC==小浜(昼食)== 7:00~7:30頃発 藤山SA 加西SA ==敦賀IC==御誕生寺参拝==加賀IC==山中温泉(泊) 【専門僧堂:盤山禅師ご生誕の地】【住職:板橋興宗禅師】 17:40頃着 ※裏面に御誕生寺様の説明があります。ご覧下さい。
9月16日 (金)	山中温泉==九谷焼窯元==お菓子の城==うるし蔵==東尋坊== 8:00頃発 (観光・昼食) ==加賀IC==<北陸・名神・中国・米子・山陰道>==第二教区管内 (夕=弁当積込) 19:30~20:00頃着

◎ご注意・ご案内

- 1) 参拝寺院・道路状況等の都合によりコース等多少変更になる場合があります。
- 2) 行程中のお食事は、1日目昼食より2日目夕食まで準備致しております。
- 3) 集合場所等の詳細は、旅行出発7日前までにご案内致します。

個人情報の取扱について

当社は、旅行申込の際に申込書に記載された個人情報について、お客様との連絡及び運輸・宿泊機関等の手続きに必要な範囲で使用し、目的以外の用途に、あるいは目的範囲を超えて他へ提供及び預託することはありません。

取消した日	取り消し手数料
* 7日前~前々日	旅行代金の30%
* 旅行開始日の前日	旅行代金の40%
* 旅行開始日当日	旅行代金の50%
* 無連絡不参加	旅行代金の100%

〈旅行取扱〉 (株)ピーエス観光 米子営業所 【観光庁長官登録旅行業第347号】  
鳥取県米子市角盤町2-3 共建ビル2階 ☎0859-33-6456(代) Fax0859-22-1796

☆葬儀の達人になりましょう③は都合により次号に延載です